

高い技術力で高品質なエンジン部品を製造 全社員参加の改革で「有言即実行」



株式会社オイダ製作所

代表取締役社長

種田 文彦氏

- 住 所：岐阜県大垣市草道島町13番地
- T E L：0584-72-2181
- F A X：0584-72-2184
- U R L：http://www.oida.co.jp/index.html
- 事業内容：汎用・船用エンジン部品、産業・農業・航空・自動車・工作機械部品
- 従業員数：115名

■ 品質管理優良認定工場で活路

聞き手：御社の歴史転換期、ご苦労された点などをお聞かせください。

種田社長：当社は、昭和17年に種田製作所として創業しました。昭和28年には種田鉄工所を設立し、昭和37年に両社を合併させ、オイダ製作所として発足し、現在に至ります。創業者は父の種田 三郎で、2代目が兄・種田 雍人、私は3代目で、昭和63年に社長に就任しました。

当時は労働組合も活発で、社長になる以前から組合の担当者と交渉のやりとりを行い、掛け合ってきましたが、累積赤字は2億円を超え、会社を継続していくかどうかの岐路に立たされていました。当時売上げが10億円前後で、その5%、5000万円を金利の支払いに回している状態でした。

そんな折、取引先である大手のエンジンメーカーから、安定した生産性、品質改善などあらゆる基準をクリアしたとして、「品質管理優良認定工場」の認定をいただき、大きな励みとなりました。従業員にも団結力が生まれ、一つの方向に進むきっかけができました。ちょうどその頃からバブルも始まり、経営も軌道に乗り始め、取引先からの注文増もあり、平成4年には赤字を解消することができました。

その後も右肩上がり成長を続けましたが、平成20年に起きたリーマン・ショックの影響は大きく、以前の業績まで回復できず、ピーク時の8割ほどで横ばいという状況が続いています。

■ 自社製の治具、工具で高品質を実現

聞き手：御社の事業内容とその特徴を教えてください。

種田社長：主にエンジン部品の製作を行っています。エンジンといっても、用途としましては船用（船舶）、農業機械、建設機械、空調など多岐にわたって使用されており、それらの部品を製造しています。そのほか、産業機械、分析機器、航空機などの部品も担っています。

弊社の特徴のひとつは、打ち合わせから設計、製造、検査に至るまで、徹底した管理体制で、常に確かな製品づくりに努めていることです。特に、製品を機械生産するために必要となる治具や工具は自社で設計して製作しています。ものづくりにおいて、加工する時には位置を決めて固定化することが必要になります。治具や工具の良し悪しによって製品の品質、出来栄え、加工時間も大きく変わります。治具をしっかりと安定させることで、短時間で高品質の製品を作り出すことができます。

聞き手：4年前には中国にも進出しています。

種田社長：大手の取引先が中国市場での拡大を図り、弊社も平成24年に中国の青島市に取引先と合弁で子会社を設立しました。需要が伸びると見込まれていますが、排ガス規制の認可に時間がかかっています。認可が下りれば販売にも力が入っていくと思っています。中小企業にとって海外に進出するということは負担も大きいのですが、現在派遣している2人の社員が、